

令和5年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成 果

- ・ 材料や用具の基本的な扱いや技法は、概ね身に付いている。
- ・ 表したいことやイメージを課題提示からすぐに思い描ける児童が多い。
- ・ 自他の作品に対して愛着や興味をもって接している。

(2) 課 題

- ・ 持ち物がそろわない。共同で使う絵の具等を用意しているが、使い方が乱雑など課題がある。
- ・ 少しでも失敗すると全てを投げ出したくなる児童が少数見られる。失敗を生かす発想転換する力が不十分である。
- ・ 自他の作品から感じたことを具体的に表す語彙力が足りない。「すごい」「かわいい」等で終始してしまうことが多く、課題である。

2 授業改善のポイント

・ 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 安全に正しく用具を扱えるよう、はさみなどの基本的な使い方や、絵の具などの適量についての指導を引き続き行う。	・ 楽しく発想できるよう、身近な材料や興味をもつことのできる題材を吟味し、自分の思いがもてるようにする。	・ 自分や友達の作品の良さに気付けるよう、お互いの作品を見合う時間を確保する。



・ 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 鋸や金槌、彫刻刀などの目新しい道具も正しく安全に扱えるよう発達段階をふまえ計画的に指導する。	・ いろいろな材料や技法にも出合わせ、思い付いたことにどんどん挑戦させ、失敗してもそれを生かせるよう指導する。	・ 物語に浸りやすい中学年の特性を生かし、できた作品だけでなく、言葉でも空想を広げさせ、自他の世界観に興味をもたせる。



・ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 材料や用具についての既習事項や習得した技能を生かし、さらに応用的に使いこなせるよう助言する。	・ 感情や内面のイメージなど抽象表現にも挑戦させ、効果的な方法を考えたり、より良く深めたりする姿勢を奨励する。	・ 友達の作品や世界の芸術作品からも良さや美しさを感じ取り、自分の表現に還元できるようにする。

